キャラクター名
ルシア=トルストイ

プレイヤー名

シンドローム	ブラックドッグ ブラックドッグ	ワークス	プログラマー	カヴァー	中学生
オプショナル		年齢	13	性別	女
覚醒	犠牲	衝動	破壊	初期侵食率	36 %
出自	親の理解:父『グレイ=トルストイ』	経験	小さな名誉:賢者の石	邂逅	同志:ビルド

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	4	0	0			4
感覚	2	0	0			2
精神	2	0	0			2
社会	0	1	0			1

HP	30
行動値	6
(非装備時)	6
戦闘移動	11
全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵		12	射撃			ＲＣ			交渉		
回避			知覚			意志	2		調達		
運転：	2		芸術：			知識：ﾚﾈｹﾞｲﾄﾞ	2		情報：ウェブ	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ﾋﾞﾙﾄﾞﾄﾞﾗｲﾊﾞｰ	白兵	4r+11	3	9		ｲﾆｼｱﾁﾌﾞ装備可 ｶﾞｰﾄﾞ値-5
通常ｺﾝﾎﾞ	白兵	9r+11		9		ｺｽﾄ4 ｸﾘﾃｨｶﾙ値8 ｶﾞｰﾄﾞ値-5
100%ｺﾝﾎﾞ	白兵	13r+11		9		ｺｽﾄ4 ｸﾘﾃｨｶﾙ値7 ｶﾞｰﾄﾞ値-5

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
ﾊﾞﾄﾙﾏﾆｭｰﾊﾞ	
ｶｽﾀﾏｲｽﾞ:ﾈｰﾑﾄﾞ	
ｺﾈ:要人への貸し	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	ﾀｲﾐﾝｸﾞ	消費
賢者の石	P	N		
ｼﾅﾘｵ指定『春日恭二』	P 好奇心	N 不快感		
父『グレイ=トルストイ』	P 遺志	N 劣等感		
ビルド	P 信頼	N 恐怖		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 2	残り財産P： 1

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
ﾊｰﾄﾞﾜｲﾔｰﾄﾞ	7	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果： 専用ｱｲﾃﾑ7(lv)個取得								
ｱｰﾑｽﾞﾘﾝｸ	4	2	ﾒｼﾞｬｰ	武器	-	対決	-	
効果： 判定ﾀﾞｲｽ+LV個(5→6)								
ｺﾝｾﾝﾄﾚｲﾄ:ﾌﾞﾗｯｸﾄﾞｯｸ	2	2	ﾒｼﾞｬｰ	-	-	-	-	
効果： 判定ｸﾘﾃｨｶﾙ値-LV(下限値7)(9→8)								
ﾌﾙｲﾝｽﾄｰﾙ	5	5	ｲﾆｼｱﾁﾌﾞ	至近	自身	自動	100%	
効果： ﾗｳﾝﾄﾞ間判定ﾀﾞｲｽ+[LV×3]個 ｼﾅﾘｵ1回								
ｾｷｭﾘﾃｨｶｯﾄ	1							
効果：								
ﾀｯﾋﾟﾝｸﾞ&ｵﾝｴｱ	1							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

レネボット東地区大会の前日にお父さんは私に新型機であるビルドをくれた。

準決勝まで軽く勝ち上がれたのはビルドの性能のおかげだった。

私が小さい頃に言っただけの好きな動物、ウサギ。
私が小さい頃に作ってみたいって言っただけの兵器、戦車。
ウサギの機動力と戦車の火力、その2つの要素を兼ね備えたビルドは最低限のコストで最大限の成果をあげてくれた。
決勝で戦ったあの女の子(pc2)は強かったけど、ビルドの性能はやっぱり凄くてなんとか勝てた。

でも、大会が終わった私に告げられたのは

父の死だった。

グレイ=トルストイはUGNと協力してレネボットを生産する科学者だった。
そんな彼が手掛けた作品たち、通称『ライダーシステム』は成人したプロたちも欲しがる1級品ばかりであった。
火力をテーマとした『クローズ』
鉄壁をテーマとした『グリス』
反撃をテーマとした『ローグ』
速度をテーマとした『エボル』
そして新型である効率、拡張性をテーマとした『ビルド』
内蔵された2つの動力源、従来の『ライダーシステム』と同様の『ネビュラ』と『賢者の石(レネゲイドクリスタル)』を用いた『ハザードトリガー』
通常時は『ネビュラ』を用いた通常のレネボットと等しい動力で火力を一点集中させる事により破壊力を増強しているが。